

平成 25 年度 第 3 回 静岡県作業療法士会 理事会議事録 (平成 25 年 8 月 17 日)

参加者:秋山、小笠原、谷川、梶原、岩井、岡庭、大庭、村岡、稲葉、建木、小林、大石、清水、高岡、小坂、辻、武内(議事) (順不同)

場 所:静岡県作業療法士会 事務所 (静岡) 13:00~

※【平成 25 年度 第 3 回理事会資料】<別紙資料>に順じて進行.

【検討・審議事項】

1. 平成 25 年度県士会役員体制について

○役員および担当部局・委員会

	役職	氏名	担当部局・委員会	地区
1	会長	秋山恭延	渉外部担当理事、表彰委員会委員長	西部
2	副会長	梶原幸信	制度対策部担当理事、規約検討会	東部
3		三井 忍	学術部担当理事、総会管理委員会委員長	東部
4	理事	稲葉洋介	広報部担当理事、西部地区担当理事	西部
5		岩井幸治	地域活動推進部担当理事	東部
6		大庭俊裕	調査部担当理事、東部地区担当理事 第 27 回県学会学会長	東部
7		岡田真紀子	財務部担当理事	中部
8		岡庭隆門	OT 協会都道府県連絡協議会代表 (福利部相談役)	中部
9		勝又和也	中部地区担当理事、法人化推進委員会委員長	中部
10		小林晃子	事務局長	中部
11		齊藤洋平	福利部担当理事 (部長兼任)	東部
12		建木 健	事業部担当理事	西部
13		村岡健史	教育部担当理事、災害対策委員会委員長 OT 協会生涯教育制度推進委員	西部
14	監事	小笠原誠		西部
15		谷川正浩		東部
16	顧問	熊谷範夫	日本作業療法士連盟 (東海北陸ブロック代表)	中部

○部局担当理事・部長

部局	担当理事	部長
学術部	三井 忍	清水 良治
教育部	村岡 健史	白石 直也
広報部	稲葉 洋介	大石 裕也
事業部	建木 健	鈴木 克昌
制度対策部	梶原 幸信	生田 純一?
地域活動推進部	岩井 幸治	担当理事兼任
調査部	大庭 俊裕	担当理事兼任
財務部	岡田真紀子	担当理事兼任
福利部	齊藤 洋平	担当理事兼任

○委員会およびその他の役員

委員会等	担当
総会運営委員会	三井 忍
選挙管理委員会	遠藤浩之
表彰委員会	秋山恭延
訪問リハ連絡委員会	岡本曜祐
規約検討会	勝又理事 梶原幸信

○地区担当理事

地区	担当理事 (副)
東部地区	大庭俊裕 (岩井幸治)
中部地区	勝又和也 (岡庭隆門)
西部地区	稲葉洋介 (建木健)

○事務局

事務局長	小林晃子
事務局員	高岡留美
	武内 元
	小坂幸子 (表彰委員会)
	辻 光子 (表彰委員会)

2. 県士会の休会制度について

- ・協会に順じて進めていく。時期は協会に揃える。次回理事会にて秋山会長より制度についての説明あり。

3. 地域包括ケアシステムに関する担当部局(【各部報告】9. 保険部の項参照)

4. 県士会バッジ、名刺作成について

- ・県士会バッジ:資料 2 番目の富士山型のデザインに決定。⇒事務局にて TK プリントに見積を依頼
※1 個 500 円程度(作成は 300~500 個程度?)
- ・役員の名刺作成:必要な担当部局は事務局会計で作成(メールにて依頼を確認)

5. 静岡県作業療法士連盟の設立について

- ・政党と政策協定を組むなど、政界へ働きかけを行える。連盟と県士会との関係性も考慮し進めていく。
⇒熊谷顧問に、県士会は協力体制を組む意向を示し設立したい旨を秋山会長から伝える。

【学会報告】

1. 第 11 回協会・都道府県士会合同役職者研修会の報告

- ・7 月 27 日(土)~28 日(日)に開催され、秋山会長、三井副会長出席。
- ・内容:①地域包括ケアシステムの重要性について:医療財政の圧迫による在宅への患者流出のためにシステム構築が必要
- ②パイロット事業報告:京都府士会の特別支援教育の OT 配属について
- ③宮崎県士会の広報活動について
- ④生活行為向上マネジメントについて:活用するには労力が必要→縮小版を検討中。
- ⑤認知症初期支援チームについて
- ⑥その他

2. 第 27 回静岡県 OT 学会 進捗状況について

1)進捗状況

- ・前学会からの申し送り、必要物品の受け取り、各部局との連動企画(各部局のポスター掲示)依頼、口座開設、HP 作成、広報誌への紹介、演題募集:9 月下旬予定、レセプション会場決定(ロゼシアター内)

2)検討事項

- ・総会時間:90 分(11:10~12:40)で良いか。⇒良い
- ・託児所運営:託児所費は学会負担か個人負担か。管理・責任の規約が各託児所により異なる→要調整
⇒予算について見積りを含め再検討(個人負担を無料にした場合にどのぐらいかかるか)
- ・実行委員所属施設からの備品(PC、バス)などの借用について(予算との兼ね合い)
⇒PC は情報の取り扱いが難しい。バスについては、契約・保障の確認が必要
- ・レセプションでの地区別余興について:1 分間のムービーを依頼予定
- ・広告の対象について⇒公募の範囲で枠組みを決定してはどうか。

【各部報告】

1. 財務部(岡田理事):特記事項なし

2. 学術部(清水部長)

1)学術部研修会

i)第1回学術部研修会:中部地区

- ・開催日:平成 25 年 7 月 21 日(日)
- ・参加者数:69 名(西部 14 名,中部 17 名,東部 38 名)

ii)第2回学術部研修会:東部地区(特別養護老人ホームすずらんにて開催)

- ・開催日:平成 25 年 10 月 6 日(日)講師の都合により当初予定より変更
- ・内 容 :「認知症の人への作業療法評価と実践」
- ・講 師 :上城憲司氏(西九州大学講師)
- ・参加費:1,500 円

iii)第3回学術部研修会:中部地区

- ・開催日:平成 26 年 2 月 16 日(日)
- ・会 場 :静岡市東部勤労福祉センター 清水テルサ 中会議室 A・B
- ・内 容 :認知症に対する支援技術
- ・講 師 :上城憲司氏(西九州大学講師)に依頼予定
- ・参加費:3,000 円
- ・対 象 :現職者共通研修会および現職者選択研修が終了した者。但し、基礎ポイント数は不問

2)学術部地区勉強会

・各地区年1～2回開催予定。

3)学術部会

i)第1回学術部会

・開催日:平成25年7月21日(日)5:40～17:20

・内容:今年度組織体制について、今年度研修会について、地区勉強会について
学術部アンケートについて、その他詳細は議事録参照

ii)第2回学術部会(特別養護老人ホームすずらんにて)

・開催予定:平成25年10月6日(日)学術部研修会終了後

・内容:学術部各地区勉強会について、学術部アンケートについて

iii)第3回学術部会(清水テルサにて)

・開催予定:平成25年2月16日(日)学術部研修会終了後

・内容:平成25年度活動報告,平成26年度活動計画

4)学術部アンケートについて:次回学術部会(10月6日開催)までにたたき台を作成予定。

5)学術部PCについて:今後は学術部業務PC及びモバイルインターネットの使用を検討したい。
⇒必要性はあるため、検討して下さい。

6)学術部基本方針(方針に伴う組織図の追加:詳細は別紙)

i)静岡県作業療法士会会員の学術的研鑽をフォロー

ii)県士会SIGのフォロー

iii)協会の方針や方向性に準ずる動き

iv)各部との協業を通じて、広く県士会員への情報提供

3. 教育部(村岡理事)

【議題】新人オリエンテーション開催日について⇒4月27日(日):あざれあにて開催決定

【報告事項】

1)現職者選択研修(精神分野)の開催について

・申し込み状況:13名→地区連絡網にて回覧をお願いしたい。(申し込み24日まで)

・開催日:平成25年9月1日(日)

・会場:三島商工会議所 大会議室

・参加費:4000円

・プログラム:テーマ①「精神障害作業療法の基礎知識」講師:新宮尚人氏(聖隷クリストファー大学)

テーマ②「精神障害作業療法の展開方法」講師:山本晃弘氏(溝口病院)

テーマ③「精神障害作業療法の実践」講師:椿昌子氏(新清水クリニック)

テーマ④「精神障害作業療法関連のトピックス」

講師:飯田 妙子氏(浜松医科大学医学部付属病院 精神科神経科)

2)平成25年度生涯教育制度推進担当者会議への出席

3)現職者共通研修【10.事例報告】の認定基準変更に伴う問い合わせへの対応

・6月ごろより、会員から申請方法に関する問合せあり。

・静岡県士会教育部として別紙のとおり対応。HPに掲載中。

・事例報告 申請方法(現在4名申請、地区連絡網で送付)

・事例報告履修申請書

4. 広報部(稲葉理事)

1)広報誌について

110号より編集を静リハ・沼リハの交代制へと変更。発刊 8月28日を予定

112号または113号で「県内OTが関わっている勉強会情報」を掲載予定

2)HPについて:来年度から「アイコン中心」のデザインへの変更を目指し試行中(別紙 資料参照)

3)HP登録促進について

i)HP登録の簡素化

※将来的に県士会入会時の登録を目指してシステム上作業の分担が可能か検討していく。

ii)HP登録のメリットについて:メリットが少ないため、検討中の内容として

①事例報告の閲覧 教育部と協議中

②過去の広報誌の閲覧 実施可能

③今後、他部と協議を実施しメリットを増やしていきたい。

4)OT のへそについて:利用者数が伸び悩んでいる。

・対応:タイトル、カテゴリの変更を提案 → 福利部の了解済み

5)投稿会員について

・投稿会員が増加している(理事、部長、担当者など)が、投稿には一定の慣れが必要。

・デメリット:間違えると、修正の度に HP 更新の連絡メールが登録者に通知されてしまう。

→改善案:①投稿練習用の HP を用意したい。

②投稿だけでなく様々なシステム変更の試行の場にしたい。

③年額2000円以下でサーバーのレンタルが可能。

6)ユルキャラについて(別紙参照):学会とのコラボレーション企画として準備が進行中。

110号で公募の周知、学会時に投票して決める予定。⇒承認(規約は先々の方向性も考慮し緩く設定)

7)リーフレットについて:今年度中に作成

8)部会開催時期に関して:年2回→年3回(学会時、7月、1月)を予定していく。

5. 渉外部(秋山会長)

・6月21日:西部地区タウンミーティング(浜松市)

・7月6日:中部地区タウンミーティング(静岡市)

・7月8日:半田PT協会会長講演会出席(静岡市)

・7月27日~28日:OT協会・都道府県士会合同役職者研修会(東京工科大学;蒲田)

・8月6日:県庁各局挨拶(秋山会長、梶原副会長、三井副会長、PT県士会役員)

【予定】

・9月16日:静岡県3士会会長の顔合わせ(静岡市)

・10月4日:PT全国研修会開会式来賓(浜松市)

・10月27日:東部地区タウンミーティング(三島市)

・11月2日:東海北陸学会開会式来賓(富山市)

・11月4日:静岡県介護福祉士会記念式典来賓(静岡市)

6. 福利部(齊藤理事):紙面報告(別紙参照)

・第2回静岡県OTリーダー研修会開催について⇒次回理事会にて開催日決定

7. 事業部(建木理事)

1)高校生施設見学:8月10日まで実施。37施設の協力を得ました。

2)一般への作業療法見学:協力施設は県内12施設です。窓口は鈴木部長で実施していく予定です。

3)第9回公開講座 ・日時:11月24日(日)AM

・場所:吉田町公共学習ホール(榛原郡吉田町住吉 1567)

・講師:太田氏(おとみりウマチ整形外科)

4)富士イオンモールでの啓発活動:今年度も実施します。日時は調整中です。

5)ふれあい広場(ガーデンパーク 浜松市西区):11月3日(日)に実施。活動内容等は調整中。

8. 調査部(大庭理事)

・現況調査について:県士会名簿をもとに実施。市町村事業のOT参画状況など内容を様々。

9. 保険部(梶原副会長)

1)報告事項

・7月8日:PT協会半田会長講演参加:山口参議院議員選挙応援、PT・OT士会役員顔合わせ

・8月6日:県庁挨拶回り(医療健康局長、福祉長寿局長寿政策課、障害者支援局長)

2)検討事項

i)保険部組織編成について(資料)

法人格取得や社会情勢への対応を鑑み、現保険部体制の強化の必要性を感じる。部の組織再編成を行い、制度改定対応や渉外活動等に関連する情報収集、資料作成等を行うべく強化を図りたい。

①部門再編理由:・めまぐるしく改定される制度改定への対応強化

・地方自治体制強化への対応

・公益事業検討、作業療法士の地域参画拡大検討等に向けた情報収集の強化

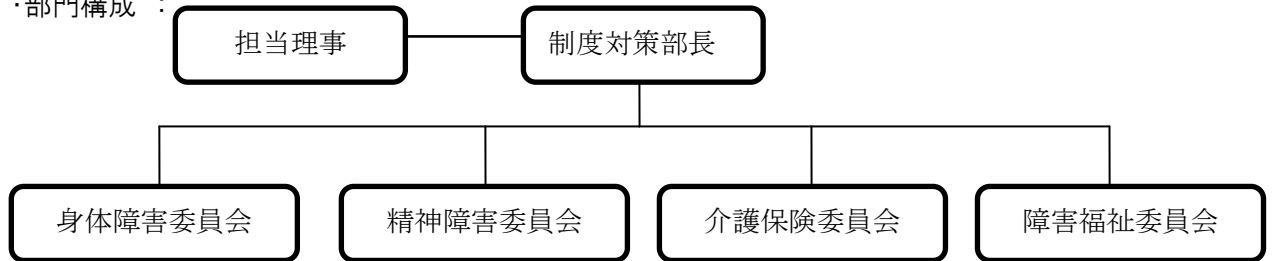
②部門変更案

・名称:保険部→制度対策部⇒承認

・対象範囲:医療保険、介護保険→医療保険、介護保険、障害者福祉制度(障害者総合支援法)、その他(県や市町村活動に関連するシステム)

- ・活動内容 : ※上記活動に加え、制度に関する県内実態把握(調査実施、情報収集)、要望活動の検討、要望活動・渉外活動に関する資料作成、その他

・部門構成 :



※立候補者:大川氏・生田氏(中伊豆リハビリテーションセンター)

※候補者:岡庭理事、渡邊氏(鶴舞乃城)、丸山氏・上杉氏(リハ・パーク静岡)

※各委員会の担当者について、県士会役員より候補者を推薦(8月末まで)

最終的に梶原副会長が担当者を決定する。

③再編スケジュール

- ・平成 25 年度: 部長及び委員の選出と全体会実施(補正予算の希望)⇒承認
- ・平成 26 年度: 事業計画、予算化の上で本格始動開始。

ii)地域ケア会議活用推進事業対応について

- ・静岡県において、地域包括ケアシステム構築に向けた検討が進められている
(資料:平成 25 年度地域ケア会議活用推進事業(案)) ※理事会時配布。
- ・地域包括ケアシステムへの療法士の参画模索と促進について、静岡県 3 療法士会の共同や連携のもとで対応検討をすすめることとなった。
- ・これに関連し、8 月 6 日 PT・OT 県士会役員で県庁内関連部署へのあいさつ回りを実施した。
- ・今後 3 士会担当者で本件検討を進めることとなった。担当者や担当部署選出の検討が必要。

○現時点で決定している他士会との連携における今後のスケジュール

- ・会議:静岡県理学・作業療法士会 地域包括ケアシステム合同推進会議
- ・日時:平成 25 年 9 月 23 日(月 秋分の日) あざれあにて開催
- ・内容(予定):①事業内容・事業目標の打ち合わせ、年間スケジュール、その他
- ・参加者:PT 士会;職能局担当者+市町村勤務 PT
OT 士会:梶原副会長、岩井理事

10. 地域活動推進部(岩井理事)

- 1)部の役割:協会・県士会の活動を推進すること。
- 2)地区割り:東・中・西部の 3 地区割りから、2 次保健医療圏域の 8 地区割りへ変更する。
- 3)組織体制
担当理事兼部長(1 名)→圏域代表(8 名)→市町村代表(36 名)→所属施設代表(施設数)。

4. 活動内容

毎年組織体制名簿作成、連絡網の整備、県・市町村への具体的な対応を協議して実行、協会・士会活動推進圏域代表者・市町村代表者・所属施設代表者研修会開催。

東部(岩井理事)

- 1)地区代表者会議:平成 25 年 10 月 27 日(日)教育部事例報告会の昼休み開催
- 2)東部地区タウンミーティング兼懇親会:平成 25 年 10 月 27 日(日)教育部事例報告会終了後

中部(勝又理事):紙面報告(別紙参照)

西部(稲葉理事)

1)地区勉強会

- ・開催日:平成 25 年 8 月 28 日(水)
- ・内容:西部地区地域 OT 連携を考える会(地域の OT 連携強化を図るため)
※事前アンケート送付(別紙)
⇒東部地区では地域連携パスがありパス会議など実施。OT 独自で動くことに対して周囲がどう思うか。
⇒会員の連携へのニーズも把握しながら進めて行ってはどうか。

11. 都道府県連絡協議会(岡庭理事)

- ・大阪学会時の協議会へは岩井理事が代理参加。リーダー研修会は、東海北陸 7 県では継続していく。
次回リーダー研修会は愛知県で開催(平成 26 年 2 月予定)
- ・次回連絡協議会は、11 月の東海北陸学会にて開催予定

12. 災害対策委員会(村岡理事)

【議題】

1)第2回静岡災害リハビリテーション研修会 開催日について

3月15日(土)または3月23日(日)⇒福利部研修会との兼ね合いで、次回理事会時に決定

【報告事項】

1)OT協会災害対策室 災害マニュアル検討報告会への参加

・開催日:平成25年6月29日(土)17時~20時(災害対策委員会2名で参加)

・内容:協会としてマニュアルを作成していくにあたり、災害ボランティア経験者からの意見を集約する目的で開催された。

2)災害時連絡システム 登録者数:211名

3)静岡ボランティア協会との連携 団体会員(会費1万円)として登録

13. 法人化推進委員会(勝又理事):紙面報告(別紙参照)

稲葉理事より:『公益社団法人とは』をHPに掲載していく。次号(111号)広報誌に掲載予定。

14. 表彰委員会(秋山会長)

1)OT協会 協会表彰および功労表彰(大阪学会開会式時に表彰)平成25年6月28日

・協会表彰:谷川正浩(NTT 東日本伊豆病院),渡邊雅行(常葉大学),秋山恭延(遠州病院)

・功労表彰:小笠原紀子(静岡医療科学専門学校),村田雄二(ラポーレ駿河)

⇒次回県学会において表彰

15. 訪問リハビリテーション連絡委員会

・三井副会長へ状況確認(秋山会長)。その後担当理事の検討。

16. 事務局(小林事務局長)

【報告事項】

1)後援依頼等、県士会への依頼について

・公衆衛生事業功労者に対する厚生労働大臣表彰候補者の推薦について⇒該当者なし

・第42回医療功労賞候補者の推薦について⇒該当書なし

・第13回東海北陸作業療法学会 開会式(平成25年11月2日)⇒秋山会長 出席予定

2)案内・お知らせ等について

・都道府県士会ニュース(随時)

・他団体ニュース・広報誌(随時)

3)会費納入状況

・平成25年度会費納入者737名 未納者542名 期日までの納入者数、会員の約60%。

→本年は8月HPにて納入呼びかけ、10月広報誌にて呼びかけ、12月督促状。

・県士会、名誉会員について:協会に順じ、県士会年間費、研修会参加費を無料とする

4)会員管理システムの研修会 8月24日(土)~25日(日)、協会にて。小林事務局長出席。

【確認依頼事項】

1)理事メーリングリストの管理:事業部は引き続き部長も閲覧

【検討事項】

1)会費納入関連

・リコーリースのコンビニ振替 → 経費・月基本料 8000円 (15,000)×5か月(2-6月)=40,000円

会員1200人で計算

・回収手数料 100円 (150円)×1,200人 =120,000円

一部顧客負担型: 県士会60円。本人63円。(=72,000円)

・払込用紙: 7円/部 1000部単位 (=14,000円)

・銀行振り込み手数料:振り込み手数料は県士会の負担

合計 174,000円(126,000円)

バーコード印刷は事務局のプリンター。

(バーコード印刷依頼は、葉書タイプで212,000円。封書タイプ260,000円)

→コンビニ払い納入期日は2月~6月末日、それ以降は今まで通りの郵便振り込み。

※領収書の送付先を、財務から事務局に変更してほしい

⇒必要経費の見積と会員への振込所配布方法を検討(事務局)

2)事務局員の増員について: 11月頃、週5日対応(案)

勤務:(月)~(金)の 9:30~16:30

週1回(若しくは月1回)は二人勤務にて業務のすり合わせが必要。

業務内容: i)会員管理システムの入力・報告

ii)会員や対外的な問い合わせ対応。(電話・メール・公文書)

iii)各種案内の役員への連絡、返答などの外部対応。

iv)会員名簿・外部名簿の管理。(発送業務も検討中)

v)会費納入関連の諸準備など(振り込み用紙)

vi)事務局の備品管理

vii)総会準備

⇒雇用形態等の検討と増員に対しての人件費の見積を行う(事務局)

3)会計関連の疑問について: 小田巻さんから返答あり。(別紙参照)

【その他】

1)他県広報誌、学会誌(保管分を除く)につきまして、(株)リサイクルクリーンに依頼して処分致しました。

2)アークネット小田巻氏とのメールについて(別紙参照)

・財務部と各部とのお金のやり取りの方法

・会計システム(経理処理・記帳)の方法

・事務局が常駐態勢になった場合の事務局業務 などについてご教授あり。

⇒岡田理事へ確認(秋山会長)

※平成24年度までの各部局の収支をリセットする

※岡田理事の補佐役の検討

⇒アークネット小田巻氏と検討予定。打ち合わせの日程調整(事務局)

出席予定者:秋山会長、岡田理事、小林事務局長(他、随時検討)

17. その他:

・次回 理事会日程について 10月5日、12日、19日、26日の12:30~

⇒事務局よりメールにて予定の確認